



2005.1.5 新本館本格稼働
新本館での外来診療スタートにあたって

本田孔士



「さかな」1999年 クレパス 紙
やまなみ工房(滋賀県) 三井啓吾
(昭和45年6月12日生 滋賀県草津市在住)

ある日、作業部屋の片隅で金魚を飼うことにした。みんなはうれしそうに、我先にとかけより水槽に顔をくっつける。でも三井さんだけは、そしらぬ顔で見向きもしない。次の朝、だれかがえさをポチョンと入れたその瞬間、じっとしていた金魚たちがいっせいに踊るように、優雅に、はげしく泳いだ。その光景にふと目をやった三井さんは、即座に立ち上がり、水槽の前の人をおしのけ、水槽にへばりついた。金魚を顔全体であっごっこ追いかけて、一人ふきだし笑っている。「もっとやる。もっとえさをやる。」はげしく泳ぐ金魚見たさに三井さんは訴えるが、一日にあげる量は決まっていた。

次の日から部屋に入ると真っ先にえさをやるのが三井さんの日課になった。同時に、さかなの絵を2カ月、3カ月と何十枚も描きつづけた。その色彩は鮮やかなものばかり。きっと彼の目にはそう映っていたのだろう。文：山下亮和さん(やまなみ工房指導員)

(大阪赤十字病院は作品掲載を通じてバリアフリーを推進しています)

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
消化器科		津村	福山	大鶴	友野	那須	
		蜂谷	辻	友野	辻	福山	
		友野	友野	大崎	杉之下	圓尾	
		津村	福山	大鶴	辻	那須	全て予約制
糖尿内科		隠岐	武呂	田中	隠岐	政次	
		隠岐	武呂	田中	隠岐	政次	全て予約制
内分泌科 肥満		田中	隠岐	武呂	政次	武呂	
血液内科		通堂	渡邊	諫田	赤坂	有馬	
		赤坂	有馬	通堂	渡邊	通堂	
		赤坂	有馬	通堂		諫田	全て予約制
肝臓内科		喜多	大崎	木村	国立	国立	
		喜多	大崎	木村	国立	国立	全て予約制
免疫・リウマチ 科		竹内	竹内	竹内			
腎臓内科		坂井	宮本	南方	南方	宮本	
		宮本	南方	坂井	宮本	南方	全て予約制
		宮本	南方	坂井	宮本	南方	全て予約制
循環器科		伊藤	田中	伊藤	滝本	垣田	
		林	牧田	稲田	桂川	田中	
		牧田	垣田	桂川	田中	稲田	
心臓血管外科				南		山田	
				南		山田	全て予約制
小児科		新居	金岡	田中	新居	金岡	
		山本	住本	濱田	鈴木	霞井	
外科		端	亥埜	横井	瀬尾	井ノ本	
		亥埜	東山	中島	有本	浮草	
		鍛	山中	祝迫	三木	東山	
整形外科		吉田	大浦	富原	牛尾	浅野	
		富原	牛尾	大浦	富原	吉田	
リハビリテーション科		渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	
		渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	渡邊	
脳神経外科		担当医	岡本	担当医	岡本	伊藤	
			伊藤		新田	小室	
		岡田			小室	新田	

受付時間(月～金)

初診の方 ———— 月曜日～金曜日 午前8時30分～午前11時30分
再診の方 ———— 月曜日～金曜日 午前8時45分～午前11時45分
(診療開始は午前8時45分からです)

診察券は

診察券は全科共通で永久に使用いたします。ご来院時には必ずお持ちください。

保険証等は

保険証、医療証等は月に1度窓口で確認させていただきます。また、変更・更新の際は必ずご提出ください。

●大阪赤十字病院に関すること <http://www.osaka-med.jrc.or.jp/> ●赤十字全般に関すること <http://www.jrc.or.jp/>

科目	曜日	月	火	水	木	金	備考
神経内科		金田	竹内	安井	鈴木	加藤	全て初診のみ
		鈴木	加藤	金田	加藤	鈴木	全て再診のみ
		竹内	安井	加藤	金田	竹内	全て再診のみ
呼吸器科		吉村	久保	網谷	西坂	若山	
		網谷	田原	若山	田原	吉村	
		西坂	網谷		久保	黄	
		黄	久保	網谷	西坂	若山	
呼吸器外科			弘野	渡辺		中出	
				田中			
産婦人科		針田	姫野	松本	関山	三瀬	産科・助産婦外来
		木下	松本	姫野	木下	針田	婦人科外来
泌尿器科		金子	西村	大森	西村	大森	全て予約制
		寺田	北原	北原	金子	寺田	午後は予約制
眼科		柏井	柏井	正井	柏井	坂上	
		小松	担当医	萩・嶺・村	担当医	稲谷	
		森下	担当医	坂上	担当医	正井	
		稲谷	担当医	小松	担当医	加賀	
耳鼻咽喉科 気管食道科		箕山	岩永	箕山	田邊	岩永	
		柿木	與那嶺	柿木		與那嶺	
皮膚科		高瀬	堀口	堀口	荒木高瀬	堀口	
		森	太田	森	森	荒木	
		荒木	高瀬	荒木		高瀬	
			堀口・森				全て予約制
形成外科		心石	柴田	中井	心石	柴田	
精神神経科		吉田	早川	上田	土戸	吉田	
		上田	土戸	吉田	早川	早川	
放射線科		小嶋	藤堂	清水	西川	藤堂	診断
		石垣	石垣	石垣	石垣	石垣	治療
		清水	(外科)	藤堂	(内科・福山)	石垣	検査(透視)
		藤堂・西川	小嶋・清水	清水・西川	小嶋・藤堂	清水・小嶋	検査(CT)
		小嶋	西川	小嶋	清水	西川	検査(MR)
		西川	藤堂	(循環器科)	小嶋	清水	検査(PI)
					西川		検査(血管造影)
		清水・小嶋	西川・清水	清水・小嶋	小嶋・西川	藤堂・西川	検査(CT)
	藤堂	石垣	西川	清水	小嶋	検査(MR)	
歯 口腔外科		西川	藤堂	(循環器科)	小嶋	清水	検査(PI)
		小嶋			清水		検査(血管造影)
		砂田	杉立	蠅庭	担当医	砂田	全て初診のみ
	杉立	蠅庭	杉立		杉立	全て再診(予約制)	
	蠅庭	鹿野	鹿野		蠅庭	全て再診(予約制)	
	砂田	砂田	砂田		鹿野	全て再診(予約制)	

※異動等により変更になる場合があります。下記ホームページの各診療科のご案内をご覧ください。各科外来にお問い合わせ下さい。

お問い合わせ

☎ 06-6774-5111 (代表)

新本館 外来診療を

2004年

1月5日



開始



2004年、新年を迎えるとともに、1月5日から新本館での外来診療がスタートしました。再来受付機や自動支払機といった機械の導入などの新体制のもと、「心のかような高度の医療」を心がけていくよう気持ちを新たにしています。患者さまには新システムのもと、いろいろとご迷惑をおかけすることもあるかと思えます。職員一同一丸となって新システムのもと診療が円滑に進むよう努力して参りますので、ごつよごつよろしくお願ひいたします。



新本館での 外来診療スタートにあたって

本田 孔士



新年明けましておめでとうございます。いよいよこの新年から新本館を使つての外来診療が始まりました。一連の改築事業全体から見れば、新本館南側にできる正面玄関の工事は大詰めをむかえながらも、東病棟の改修工事は未だ進行途上であり、旧北病棟の解体工事とその跡地に出来る立体駐車場の建築はこれから始まるといったところです。全ての工事が完了すると、外開道路は今の二倍に拡がり、病院外扉には300本以上の桃の並木が配され、ここ桃谷の風土に溶け込んだ美しい景観が出現します。四季の変化に富んだ、植込みで繁った安らぎの病院外周工事の完成にご期待ください。この最終的な竣工までには更に1~2年の時間を要します。もししばらくご不便をおかけしますことをご許しただきたいと思ひます。外開の基幹工事が済めば、全ての患者さまが何時でも待たずに駐車できる十分なスペースをご用意できます。今回完成した新本館の外来は、最新の医

療機械や情報システムを備えております。患者さまへのサービスとして、再診予約制を拡充することなどによって待ち時間を短縮すべく工夫がなされています。患者さまのプライバシーに配慮し、パラエティーに富んだアメニティー広場を用意して、来院中に少しでも心の安らぎを感じていただけるよう工夫いたしました。しかし、医療者側も患者さま側も、新しい設備の使用に慣れるまで、多少の混乱の時期を通り過ぎねばならないかと覚悟しております。ただ、その混乱も、新しい時代に移行するための産みの苦しみとして、前向きに考えていただきたいと思ひます。新しい事への挑戦の過程での混乱として、勇気を持ってこれ乗り越えていきたいと思います。混乱するから元に戻せというのではなく、どうすればより良くなるのかという発想で前進して行こうというのが我々の基本的な考えです。ご高齢の方々には電算機によるオーダーリングシステム、日本ではまだ完全に定着



していない再診予約制、自動支払いシステムなど、簡単にはなじみにくい面も多々あるかと思ひますが、支援に立っていただいているボランティアの方々や病院職員が力をお貸しいたしますので、早く慣れていただきたいと思ひます。新しいシステムが自分のもととなれば、以前より利便な面が次々とお分かりいただけるかと確信しております。コンピューター導入による近代化が全ての分野での時勢とはいへ、病める患者さまの訪れる病院においてそれが非人間的なものとはならないよう十分配慮してまいりたいと存じます。また、新システムの利便性、機能性、効率性はやもすると人の心の触れ合いを少なくし、余裕を失わせがちです。我々も可能な範囲で、余裕を持って対応できますよう努力してまいりたいと存じますので、患者さまのご理解とご協力をお願いいたします。

患者さまの権利

1. だれもが、一人の人間として、人権がまもられる権利を尊重します
2. 良質かつ適切な医療が、公平に受けられる権利を尊重します
3. 医療についての情報や治療上の説明を受ける権利を尊重します
4. 自分自身の治療について、医療行為を選択する権利を尊重します
5. プライバシーがまもられる権利を尊重します

大阪赤十字病院の基本理念

わたくしたちは
人道・博愛の赤十字精神に基づき
すべての人の尊厳をまもり
心のかような高度の医療をめざします

医療情報推進室長 友野 尚美



オーダーリングシステム導入に当たつての 当院の考え方について

最近、マスコミはじめさまざまな業界に「IT革命」とよばれる情報革命の波が押し寄せています。これは医療の現場においても例外ではありません。

IT革命は、医学や医療の分野の構造も大きく変えようとしています。すなわち、院内に新しい情報システムを導入することで、医療に携わる医師、あるいは看護師にすばやく必要な情報を伝達し、より早く適切な新しい医療を提供することが出来るようになります。当院でもこうした情報化をおすすすめ、さらに優れたよりよい医療サービスを患者の皆さまに提供するため、本年1月よりオーダーリングシステムを導入いたしました。

オーダーリングシステムを一言で説明しますと、情報伝達の手段を紙から電気信号化するということです。身近な例えで手紙(書面)から電話になったとお考えください。医師が薬の処方や検査指示等をコンピューターに入力することにより、直接関係各所にその指示が

届けられることとなります。

オーダーリングシステムの導入は、情報伝達の迅速・正確化、セクシオン業務の向上、転記・伝達の省力化、診療・検査予約実施による待ち時間の減少を可能にすることを目的としています。

これまで医師の指示は伝票で行われていたため、指示情報の伝達は、人手による搬送にたよっていました。また、事務的作業や記入内容の確認が必要になるなど、運用面及びサービス面に影響を与えていました。オーダーリングの導入によるコンピュータネットワークの活用は、これらの問題を解決し、より効果的な診療を行うことが可能となります。

このようにオーダーリングシステム導入にはさまざまな利点がありますが、私たちが念頭においた基本姿勢は、「患者さまのために」ということとあります。今後ともこの考え方に基つて運営してまいりますので、皆さまの「一層のご理解をお願ひ申し上げます。

看護部長 伊藤 ヒロコ



看護部から 一言

現代、どの社会においてもコンピュータは必要不可欠なものになっていきます。このコンピュータの効率的な使用により、今まで人の手で行われていた業務にかかる時間の短縮・効率化をねらい、当院でも新病院への移転を機にコンピュータによるオーダーリングシステムを導入することにいたしました。

の利点を大いに活用し、患者サービスの改善・安全確保も含めた看護業務の改善をしていきたいと考えています。その中で、やさしく、思いやりの気持ちで念頭に置き、「早く診察を受けられるようになった」「検査がスムーズにいくようになった」「対応がよく変わった」「看護師がベッドサイドにいる時間が長くなった」と、一日でも早くたくさんのお患者さまに感じていただけるよう、スタッフ一同一丸となって、取り組んでまいります。

オーダーリング システムの 導入の利点

こんなことが
便利に
なります

1 患者さまの待ち時間の短縮

医師の指示がコンピュータを通して各検査室、薬剤部などに伝達することにより、これまで人手が介在するためにかかっていた時間を短縮します。



さらには、再来受付機、自動支払機の導入により、診察だけでなく、検査及び会計などの待ち時間も短縮されます。

2 事故を未然に防ぐ効果

過去に処方した薬品情報のチェックをコンピュータ上で行えるため、医師が指示を出す段階で、投薬ミスなどによる事故を未然に防ぐ効果があります。

また、検査システム、放射線システムなど連動することで、転記ミスも少なくなり、これを防ぐために二重三重で行われていたチェックの手間も軽減されます。

3 過去の情報との連動

過去の検査結果や投薬内容などを検索、表示

4 準備作業などの軽減

例えば検査を行う場合に、外来で医師が検査オーダーをコンピュータに入力すると、検査オーダーは電子的にラボシステムに転送されます。中央採血室に検査指示情報が送られ、患

して比較検討を行うことが可能です。またその内容をグラフで表示し、それを使って患者さまにわかりやすい説明ができるようになります。

5 省力化

これまで述べた事柄は、それぞれが省力化に寄与しますが、他にも大事な点があります。運搬の手間です。医師が検査等を指示した際に、これまでは看護師や他の職員が運んだり、患者さまに指示票を直接持っていくていただいていたましたが、その必要がなくなります。

このように、各部署の手間を減らすことによる省力化が可能となり、その分だけパワーを患者さまへのケアやサービスにあてることが可能となります。

患者さまの 声!

Q 院外処方せんにすると、何がよいことがあるのでしょうか? 手間も支払額も増えるだけで割に合わない気がしますが…

A 院外処方せんとは、「医薬分業」の制度として、医師の診察後に街の保険薬局でお薬をいただくために渡される処方せんをいいます。

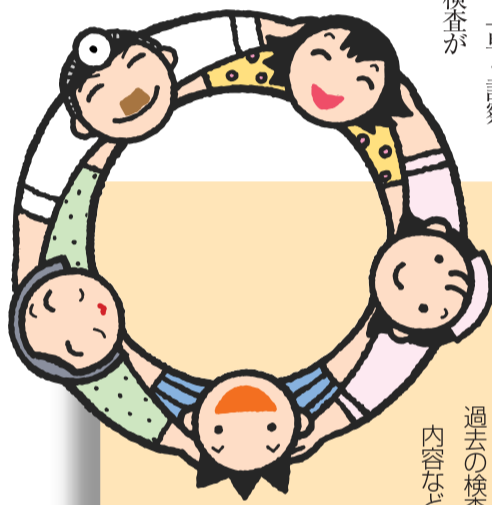
「医薬分業」は、医師と薬剤師がそれぞれ役割を分担し、より良い医療を目指すための制度です。院外処方せんにすると、保険薬局での調剤料や指導管理料などで支払額が若干増えますが、以下のようなメリットがあります。

- 1 保険薬局では、あなたのお薬に関する記録を保管します。またお薬の内容をおくすり手帳に記録することもあります。お薬に対するアレルギーや副作用なども記録されますので、あなたが飲まれるお薬の安全性が高くなります。
- 2 「かかりつけ薬局」を決められると、複数の病院や診療所から処方されるお薬の内容を把握することができます。市販薬も含めてお薬の「重複」や「相互作用(飲み合わせ)」などを防止するためのチェックをしますので、安心してお薬をお飲みいただけます。



3 院外処方せんの有効期限は、発行日から4日以内となっています。4日以内であれば、ご本人が行けない場合に代理の方が保険薬局でお薬を受け取ることができます。

(薬剤部副部長 杉山正敏)



真実を伝える信実

最近のマイブームは電車の中での読書。松本清張、山崎豊子、司馬遼太郎など社会派小説が好きで、最近読んだ横山秀夫の『平落ち』は血液内科医と関わりがあり面白かったそうである。また、体を動かすことも好きで、家であまりじっとしていないという。

「僕は子供の時、本当によく勉強する子でね(笑)。スポーツするようになったのは、大人になってからですよ。妻はスイミング、長女はヨット、長男は、バレーとテニス、次男はサッカー。そして本人は、テニスを特訓中だ



MITSURU TSUDO 通堂 満

第三内科(血液内科)部長

PROFILE
昭和27年12月21日生まれ。昭和46年大阪府立三田高等学校卒業。昭和52年3月信州大学医学部卒業。昭和53年4月京都大学医学部附属病院研修医。昭和53年～55年、静岡県立中央病院。昭和56年～60年、京都大学大学院。同修了。昭和60年から2年間米国立がん研究所にて研究医として渡米。東京都臨床医学総合研究所、ユニチカ中央病院、京都桂病院を経て、平成13年大阪赤十字病院へ、京都大学医学部臨床教授兼任、現在に至る。

そうだ。体育会系通堂家族は、冬になると家族で行くスキーが楽しみ。志賀高原、赤倉、野沢、白馬八方など。でも仕事の特殊性からなかなか予定が立たないところがつらいとか。「休日は住んでいる地を生かして、妻と一緒に奈良や京都、滋賀の寺社巡りをしますね。子供たちは、もつついて来ませんが……。最近行った奈良薬師寺の薬師如来は日光、月光菩薩を従えてとくに美しいお姿であったと教えてくれた。

出身は大阪。そして高校の同級生である奥さんと24歳で結婚。大学院修了後、米国立がん研究所に留学。これまで最も印象に残っているのは、このアメリカ留学生生活の二年間だそう。」「競争は激しいアメリカですが、研



米国ワシントン近郊にある世界最大の医学研究所の米国立衛生研究所(NIH)。この中に国立がん研究所や国立アレルギー感染症研究所など19の研究施設と国立医学図書館などがあります

究者が研究しやすいよき環境が整備されましたね」。休みを利用して、住んでいたワシントン近郊から、ナイアガラの滝、トロンターモントリオールケベック州ボストンと、カナダへ車で十日間旅をしたことは、今も心に鮮明に残る思い出だそうである。

血液内科の医師として、担当する患者さまは、重病の方が多く。「私は、病名を隠さずに告知します。抗がん剤治療が必要となった時に告知しないでいると、患者さまは病名に疑いを持ちながら、治療を進めていくことになり

ます。その方が辛いことだと思います」。白血病などの重い病気も骨髄移植など、こ二十年で治療の方法も随分と進歩した。しかし、患者本人、そしてその家族、医師をはじめ病院職員、三位一体で病と戦っていくことが、何よりも大切である。健康である時、旅行など家族と共有する楽しい時間。しかし、誰か一人が病気になる時に当然支え合うのも家族である。つらく、長くなるかもしれない闘病生活に、信じ合える心を持って支えあうには、全員が真実を知るべきであるという。告

知するという、とても重大な任務を背負う医師にとって、言葉は時には武器になる。だから、慎重に言葉を選ぶと通堂医師は言う。患者さまへ真実を伝える、信の関係を築きあげていきたいというのが通堂医師の心である。



お姉さんと一緒にプリクラ

ナースレポート 心ゆれる日々



ともまつ まみ
友松 真美
昭和56年9月1日、大分県で生まれる。平成12年3月大分県立大分看護専門学校卒業。平成15年3月高松赤十字看護専門学校卒業。同年4月より21号病棟に配属。

九州・大分市内中心から車で10分ほどの町で友松看護師は生まれる。両親が商売をしていたので、おばあちゃんだったそうである。そのおばあちゃんが友松看護師が中学3年生の時にクモ膜下出血(くもまっかしゅつけつ)で倒れた。その時、看護をしたいという切実な思いとは逆に何の役にも立たなかった自分への腹立ち、その出来事が看護師への道に進むきっかけになったそう。

九州から、四国の高松へ、そして大阪に。二人姉妹の姉を追って…。実は、友松看護師の姉も当院に勤務している。二人は大の仲良しで、休みの日には、吉本の芸人の漫才を観に梅田へと出かける。うめだ花月へ行くと、帰りにたこ焼きを食べるのがお決まりのコースだとか。公私共々の先輩であるお姉さんは、心強い存在に違いない。

看護師1年生を振り返ると、やはり最初の数ヶ月は寮を出る前に一日の自分の仕事をシュミレーションして予習していたかどうか今度は頭の中で復習を、でも不安とプレッシャーに負けそうない時は足取りが重く、病院への道のりが遠く感じた日もあったそう。」「チームの先輩と定期的な面談の日があるんです。今の自分の心境、悩み等はその時に話をしています。同じ経験をもつ先輩からのアドバイスはとても参考に

笑いの花を咲かせる看護師に…

「精神病患者への看護は、人とのコミュニケーションの原点である」と、学生時代に学んだんです。実は、私としても人見知りをするんです。特に初対面の人には、自分の気持ちをうまく伝えられなくて…。そんな自分自身を克服したくて精神科への配属を志願したそう。一年間で、とても印象に残っていることそれは、笑顔をあまり見ない患者さまに「私と同期の子を動物にたとえたら何?」と質問したら「タヌキ」と笑顔で答えてくれた事。「患者さまとゆつくり、話をするのは大事なんだなあ」とあらためて感じたそうである。「吉本の芸人の漫才を見て、大笑いしている私。看護師として患者さまへ笑いを届けられるようになりたい」と志をもっている。そして今年には遠慮しないで、もう少し近い距離での看護が出来るようにと目標をかけた。「笑いあるところに幸せあり」これから数多くの経験を積み重ね、きつと多くの笑いの花を咲かせてくれるに違いない。

大阪赤十字病院95年のその時

難航の聖地に青空

昭和二十一年一月、日本の敗戦後、大阪赤十字病院の土地と建物全部が進駐軍に接収され、それから約十年間は「診療所分院時代」という時代がありました。わが家を追われた病院は、大阪市から生国国民学校の講堂の一部を間借りして診療を開始、「闇市」同然の難然とした所で細々と外来診療を続けたのです。赤十字病院はどうなるのか、いつ元の病院の形に戻れるのかと職員たちは途方にくれたことでした。生国国民学校の講堂に破れたガラス戸を立てかけ、防空の暗幕をつぎ合わせて仕切った各科の診察室、入口だけは古い白の敷布をカーテンにしたて、診察用具といつても皆が背負って持ち出した手箱の上に並べただけのもの。しかし、こんな哀れな診療所にも、日赤ファンの患者さまは、少ない日でも百八十人、多い日でも三百人の受診者がありました。職員は「これよりも落ちようがない」、「どんなことがあっても暫くの間もここにたえて、元の病院にしなければ」と慰め合ったそう。病院は多くの職員を抱えながら、全員が働ける分院・診療所を作るのに懸命でした。堺第一・二診療所、中野分院、阿倍野橋分院、花園ラグビー場倉庫、樟蔭学校教室等他多数の分院・診療所を作り市民からは、「赤十字の十銭ストア」などと、囁かれてはいましたが、病院復興にかけての分院・診療所への医薬品品の梱包や発送など、その荷造りする職員たちは、まこと勇敢でした。

昭和二十二年二月には、法田坂の旧陸軍第二十二部隊跡に移り、一家離散状態であった千人近くの職員たちにとって、再び働く拠点を果たす喜びは、何にも増して大きかったのはいうまでもないことです。戦後の混乱の世の中、当時の原院長は「まあ何とかなるよ」と自ら陣頭に立ち、医学インターン生の採用、完全看護の実施、助産婦や保健婦の養成開始とどん底時代にやり遂げられた仕事は、すばらしいものでした。ポロポロの建物の病院でも、職員は一流と、薄汚い病棟の中で失望しながらインターン生に激励されたことは、力強く心に響くものでした。



米軍に接収された大阪赤十字病院の絵はがき

おひまひまの三知識

おひまひまのよこして出来上がるか存じますか?

「治験」という言葉を聞かれたことはありますか? おくすりは、さまざまな段階を経て世の中に生み出されます。

まず、製薬会社の研究員の方が、くすりの候補を探します。最初は、動物で効き目と安全性や体内での変化を調べます。その中からくすりの候補を選びます。選ばれたくすりの候補が、新しくくすりとして厚生労働省の承認を得るために行う試験を「治験」と言います。治験に用いるくすり

「治験薬」と言います。

「治験」には、三段階があります。第一段階では、健康な方の協力を得て、安全性と治験薬が体内でどのように吸収されどのように排泄されるかを調べます。次の第二段階では、病気を抱えている患者さまの協力を得て、治験薬の効き目と安全性を調べ、最も適した使用量を決めます。第三段階では、より多くの患者さまの協力を得て、第二段階で得られた治験薬の最も適した使用量を使って、効き目と安全性を調べます。

今、あなたがお飲みになっているおくすりもこのようにして多くの方々の協力によって生み出された先人からの贈り物なのです。多くの方に、おくすりができるまでの過程に関心を持っていただけることを願っています。

(治験事務局 藤田 清)

ふしぎ

自然紀行

ニッポのちり国

鳥たちのかがく

武庫川女子大学附属中学校・高等学校教諭 平松 山治

日本は、狭い島国ながら、世界の15種類のツルのうち、タンチョウ・マナヅル・ナベヅル・クロヅル・ソデガロヅル・カナダヅル・アネハヅルの7種類ものツルの飛来が記録されています。

タンチョウは北海道東部の釧路湿原などで繁殖し、1年をその周辺で過ごし、一時は、30数羽にまで減少し、トキやコウノトリのように日本での絶滅が心配されましたが、冬の給餌など、保護のおかげで今では800羽を超える数が確認されています。

マナヅル・ナベヅルは、鹿児島市の出水市荒崎の田んぼに冬を越すために渡ってきます。

最近ではマナヅルが3000羽、ナベヅルが8000羽以上、千羽鶴ならぬ万羽鶴の盛況です。マナヅルは世界中の約半数が、ナベヅルは8割以上がこの地で冬を越していると考えられています。他の4種も、毎年あるいは年により数羽が荒崎に渡ってきています。

日本は、世界に誇れる「ツルのすみ国」なのです。ただ、現在はこれらの地域でしかツルを見ることはできませんが、かつては大阪にもたくさんツルがいたらしく、まさに「ツルのすみ国」だったようです。大阪市内でも鶴

見・鶴見橋、鶴町などツルゆかりの地名がたくさん残っていますが、この病院がある「鶴橋」も、このあたりにツルが多数飛来したことから橋の名になったということです。ちなみに「鶴橋：つるのはし」は、日本書紀にある日本最古の橋、「猪甘津(いかいつ)の橋」の古跡とされているそうです。万葉集にも、難波河 潮干に立ちて 見渡せば 淡路の島に 鶴渡るみゆ (作者未詳)

草香江の 入江にある 葦鶴の なたたつたつし 友なしにして (大伴旅人)

など、ツルと大阪を結びつける歌が残されています。

タンチョウの学名は *Grus japonensis* と表します。「ツルのすみ国」の住人にふさわしい名です。日本では絶滅してしまつたトキの学名は *Nipponia nippon* です。タンチョウがそうならないことを、日本がこれからも真の文化国家として「ツルのすみ国」であり続けることを願いながら、大阪の万葉時代の古地図を広げ、何万羽ものツルがいる広大な難波潟の湿原を、カヌーでボード・ウォッチングする夢でも見ることにしましょう。



①②タンチョウ (市橋雅恵撮影)
③つるのはし史跡(生野区)
④大阪赤十字病院玄関ホールに鶴(天王寺区)

講習会と相談会

当院では、診察とは別に様々な講習会・相談会を行っております。関心をもたれた方は、是非ご参加下さい。

内科

- 糖尿病教室（1コース4回実施）
 - ①毎週木曜日（第5週は除く）13時30分～15時30分
 - ②内科外来 3診、4診診察室
 - ③糖尿病の患者さまとその家族（当院での受診の有無は問わず）
 - ④医師、看護師、管理栄養士

●外来患者栄養相談

- ①月曜日から金曜日までの毎日午前中
- ②2階 栄養指導室
- ③当院外来診察において、主治医から相談指示を受けた患者さま
- ④管理栄養士

●入院患者栄養相談

- ①月曜日から金曜日までの毎日
- ②2階 栄養指導室
- ③当院入院中で、主治医から指示を受けた患者さま（予約制）
- ④管理栄養士

●大阪日赤みどり会（日本糖尿病協会、大阪糖尿病協会加盟）

- ③糖尿病で、大阪赤十字病院で医学的治療を受け、糖尿病教室を受講した人、及び役員会で承認した人。
 - ④患者会、医師、看護師、管理栄養士
 - ⑤一泊研修やウォークラリーなどを通じて、健康管理や衛生指導及び会員同士の親睦を図ります。（内科外来にて、活動内容を掲示しています。）
- 入会費¥1,000、年会費¥2,000。医療社会事業部にて入会受付を行っています。

小児科

- 子どもアレルギー教室**
 - ①毎月第3金曜日 15時～16時
 - ※1月は第4週の23日に開催します。
 - ②5階 会議室3
 - ③当科通院中の患者さま（10名まで、予約制。希望者多数の場合は近日中に再度開催）
 - ④小児科医師・住本

呼吸器科

- 喘息教室**
 - ①毎月第3木曜日 15時～16時
 - ②呼吸器科外来前・外待合い

- ③当院受診の有無に関わらず、どなたでも参加可能
- ④呼吸器内科医師（偶数月）、薬剤師（奇数月）
- ⑤参加者には小冊子を配布、開催の案内は呼吸器科外来等でも掲示します。

外科

●のぞみの会

- ①毎月第3木曜日（8月、12月は除く）14時30分～16時
- ②外科外来前・外待合い
- ③乳癌手術後の患者さま（当院受診の有無に関わらず、参加可能）
- ④外科医師、薬剤師 他

産婦人科

- 両親学級**（1コース2回実施）
 - ①毎月第1・2土曜日 10時～12時30分
 - ②4階 講堂
 - ③当院で受診の妊婦の方と、夫の方
 - ④産婦人科外来看護師、助産師、管理栄養士

- ⑤受講費¥1,500（事前に支払）

耳鼻咽喉科

- 道声会**（どうせいかい）
 - ①毎週月・水曜日 13時～14時
 - ②看護専門学校会議室
 - ③喉頭摘出手術を受けた患者さま（当院受診の有無に関わらず、参加可能）
 - ④喉頭摘出した会員が、ボランティアとして発声練習の指導にあたります。
 - ⑤パイプ式人工咽頭、電動式人工咽頭、食道発声の3種類の代用音声の指導を実施。入会費¥2,000、年会費¥3,000。会員同士の親睦会等も、実施しています。

薬剤部

- おくすり相談**
 - ①月曜日から金曜日 9時30分～15時
 - ②2階薬剤部医薬品情報室（おくすり相談コーナーへお申し出下さい）
 - ③当院受診の有無に関わらず、相談可能
 - ④薬剤師

①開催日時 ②場所 ③対象者 ④講師・代表者 ⑤その他(特に記載がなければ、会費は無料)

患者さまからの声

先日、他の病院のホームページを見ていたところ「お見舞いメールサービス」というものを見つけました。貴院に知り合いが入院しており、遠方でお見舞いに行くのが難しいため貴院のホームページを見てみたのですが見つかりませんでした。便利だと思ったのですが…。

せっかく当院ホームページを見ていただいたのに、ご希望に添えず申し訳ありませんでした。当院のホームページですが、新本館への移転に合わせて、患者さまにとって「より見やすく、より便利に」をコンセプトにリニューアルいたしました。それと共に「お見舞いメールサービス」も開始しました。皆さまのご利用をお待ちしております。
 <当院のホームページアドレス>
<http://osaka-med.jrc.or.jp/>
 ※お見舞いメールサービスはホームページ上からのご利用に限らせていただきます。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。さて、既にご案内させていただいておりますように、1月5日から新本館での外来を開始するとともに、オーダリングシステム（詳しい内容は1,2面で紹介しています）を導入いたしました。オーダリングシステムの導入は、さらに優れたよりよい医療サービスを患者さまに提供するために行ったものですが、一時的にとまどいやご不便を感じられることもあるかと思います。一日でも早く、「早く診察を受けられるようになった」「検査がスムーズにいくようになった」「対応がよくなった」と多くの患者さまに感じていただければ、職員一丸となって対応してまいりますので、よろしくご理解とご協力をお願いいたします。（NH）



食習慣の改善 ③ 「糖尿病」食事と運動



栄養指導をおこなっている「食べたら運動して消化するわ」、「今日は運動したから多く食べて大丈夫」など、患者さまが言っておられるのをよくお聞きします。さて、本当に大丈夫なのでしょうか？ これについては、運動の効果等を説明してから、最後に考えてみましょう。

「**運動療法の効果**」
 食後1～3時間を実施することにより、食後高血糖を予防します。また、新陳代謝を活発にして、糖尿病（Ⅱ型）で低下している筋肉や脂肪組織を中心とする末梢神経のインスリン抵抗性を改善します。さらには、中性脂肪・LDLコレステロール（悪玉）が低下し、HDLコレステロール（善玉）が増加します。運動の効果は、3日以内に消失しますので、週に2～3回を目安とし1回に30～60分程度行なうようにしましょう。

「**運動の種類と強度**」
 運動の種類は、息をこらえて行なう短距離走や重量挙げ等の無酸素運動よりも、はや歩きやジョギング等の有酸素運動を行なう方がより効果的とされています。運動強度は、脈拍を測定しない時は、運動中に「ややきつい」と感じる程度で行なうようにします。「きつい」と感じる程度であれば少し緩めてみましょう。また、冬でも10分程度で汗ばむぐらいがよいとされています。

「**運動の禁止**」
 糖尿病の食事療法はどんな方でも行なう必要があります。しかし、運動療法は糖尿病病合併症により禁止とされる場合もありますので、必ず医師の指示のもとに行なってください。

【表1】運動の効果

- ①食後の高血糖是正
- ②インスリン抵抗性の改善
- ③高血圧、高脂血症の改善
- ④心肺機能の改善
- ⑤精神的な健康維持

【表2】1単位（80kcal）消費するのに必要な運動持続時間

歩行(ゆっくり)	約25分	階段昇降	約20分
歩行(やや速く)	約20分	水泳	約10分
ジョギング	約10分	水中歩行	約20分
ラジオ体操	約25分	(体重60kgとして)	

【表3】嗜好食品と運動時間

嗜好食品	数量	グラム数	単位数	歩行(やや速く)
おはぎ	1個	約140g	4単位	約1時間20分
ショートケーキ	1個	約100g	4単位	約1時間20分
あんぱん	1個	約120g	4単位	約1時間20分
アイスクリーム(カップ)	1個	約120ml	3単位	約1時間
ビール(大瓶)	1本	633ml	約3単位	約1時間
日本酒	1合	180ml	約2.5単位	約50分



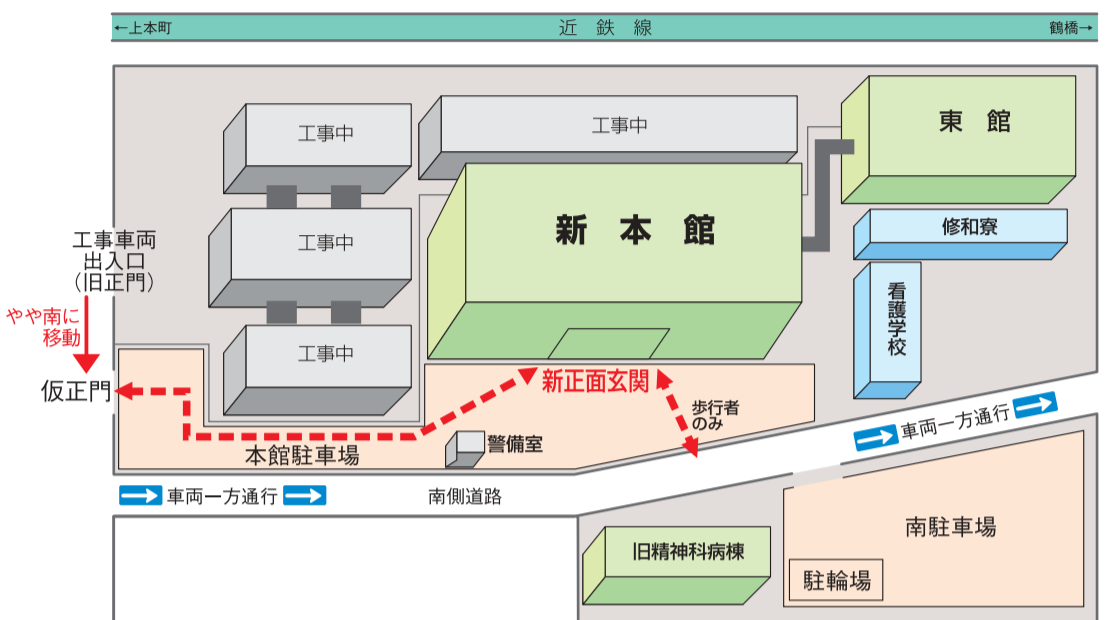
TOPICS FILE

トピックス&ニュース



正面玄関移転のお知らせ 2月24日(火)から

2月24日(火)から、正面玄関が南側に変わります。なお変更後は、現在使っている旧正面玄関は閉鎖になりますのでご注意ください。



※鶴橋から徒歩でお越しの場合は、新正面玄関が近くなります。
 ※お車でお越しの場合は、本館駐車場及び南駐車場をご利用下さい。なお、南側道路から本館敷地への出入りは歩行者のみとなりますのでご注意ください。

キャロリング ～ロウソクと心に灯をともして～



12月18日(木)の夕刻、当院の看護師・看護学生によるキャロリングが行われました。このキャロリングは昭和20年代後半頃から行われているものです。当時、大阪のいくつかの病院ではクリスマスになると看護師によって賛美歌が歌われていましたが、当院でも日頃お世話して

いる患者さまのために歌いたい、数人の有志が集まり、クリスマスの日の早朝に、灯をともしたロウソクを手に、賛美歌を歌って病棟を回ったのがはじまりでした。

今年是新病棟に移って初めてのキャロリングでしたが、患者さまにやすらぎや希望を感じていただけたらとの想いを込めた歌声が病棟に響きました。

クリスマスコンサート 開催のご案内

去る12月23日(祝)、新本館2階ロビーでクリスマスコンサートが行われました。当日は『大きな古時計』やアニメの主題歌、クレージーキャッツメドレーなどお馴染みの曲が次々と演奏され、入院患者さまを中心にした会場は大変な盛り上がりでした。公演していただいた「Eふれんず」はコ

ーフォニアムとチューバを中心としたアマチュアの演奏団の皆さん。楽しく仲良く演奏することをモットーとしているそうで、演奏を通して患者さまの気持ちも明るく癒されたのではないかと思います。

今回のコンサートは事前に院内数力所に掲示にて開催をお知らせしていましたが、今後もこのような企画があれば掲示やホームページにてお知らせいたしますのでご注目ください。



ハッピーハロウィン! 高田延彦さん・向井亜紀さん夫妻がご来院



去る10月25日(土)の午後、タレントの高田延彦さん・向井亜紀さんご夫妻が、小児科病棟にお見舞いに来られました。これは、子どもが大好きなお二人の、それぞれ色々な病氣と闘っておられる子ども達とそのご家族を励ましたいとのご厚意により実現したもので、季節にあわせ「ハロウィン訪問」と銘打つてのことでした。

当日はお揃いのオレンジ色のTシャツでお越しになり、NICU・8B病棟の病室を順に訪問されました。「ハッピーハロウィン!」とのかけ声とともにぬいぐるみのプレゼントを手渡ししながら、患者さまに励まし声を掛けてくださいました。

今回の訪問は、事前の患者さまへのお知らせなしで行われたもので、突然の訪問に皆さんびっくりの様子でした。入院中のおさまはもちろん、付き添われているご家族の方も大喜びで、写真を撮ったり、サインを求めたり、病棟全体がなんだかとても明るく、にぎやかでした。また後日には、当日撮影された全ての写真にメッセージを書いていただき、送ってくださったようで、本当にお二人の善意の気持ちがひしひしと伝わってくるものでした。

★ ハロウィン訪問 ★